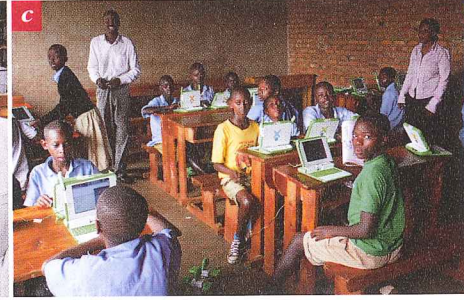
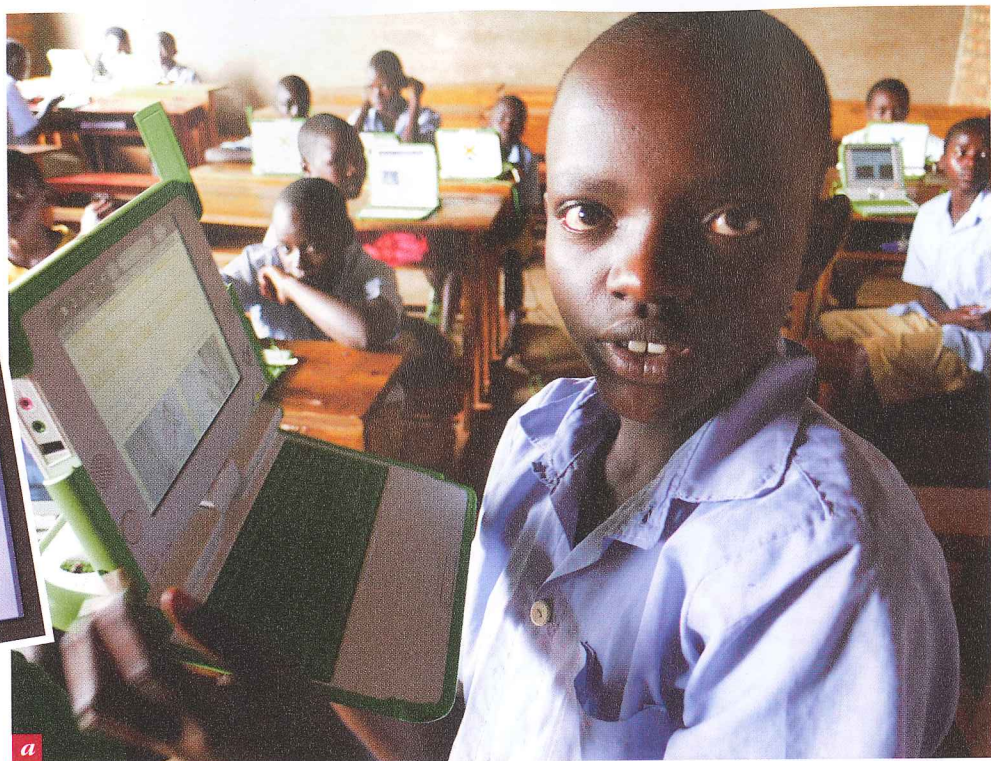
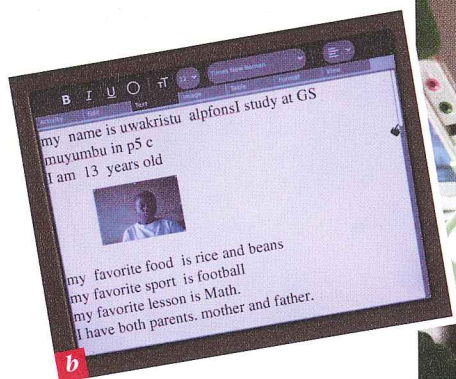


写真a ラップトップで発表するウ
ワクリスツ君(小5)/b ラップト
ップでの発表内容/c ムニユン
プ小学校の教室の様子/d ルワン
ダ教育省OLPC担当のフビト・バカ
ラムツア氏(右)と、小学校校長のカ
バゲマ・アンドレ先生/e プゲセラ
小学校の太陽光発電施設



**実現している学校は1割未満
急がれるインフラ整備**

私が訪問したのは、首都キガリ
から車で30分ほど行った郊外にあ
るムニユン小学校(Munyubu
Primary School)だ。

ひとクラス45名で、午前と午後
とで生徒が入れ替わる2部制だ。

私が見学したクラスでは、自己
紹介、環境問題、HIVについて
のレポート作成と発表をしていた。

この素晴らしい取り組みは、残
念ながら現時点ではほんの一部の
小学校でしか実現されていない。

ルワンダ国内には約2500の
小学校があり、今回のOLPCプ
ロジェクトの対象校は138校。

12年1月現在、7万5千台のラッ
プトップが配置されている。3月
末は10万台になるという。

さらに言えば、そもそも電気が
ない学校も多い。日本のような送
電網がないため、現在、太陽光発
電による発電を各学校で行おうと
している。

**数学・科学・英語の強化は
国家プロジェクトとリンク**

今のルワンダの教育は、数学・
科学・英語に力点を置いている。

ルワンダでは東部に新しい国際空
港を計画中で、セントラルコリド
ーといわれる幹線道路を含めた基
幹道路の整備、鉄道輸送の整備と
併せて、近隣国を含めた東アフリ
カの物流拠点を作ろうとしている。

ルワンダ教育省のOLPC担当者
フビト・バカラムツア氏は

「OLPCプロジェクトを通じて、
子どもたちは、コンピューターを
器用に使いこなす人材になる。O
LPCは、国家プロジェクトであ
る物流拠点で働く人材を育成して
いるのだ」と言う。

国家戦略とリンクした
教育が実現されている。

発展途上のシンプルな状態だか
ら教育の目標ははっきりしていて
取り組みやすいという意見もある
だろう。しかし、教育は自国の競
争力をつける最大の手法なのだ。

さあ日本はどうする。

現地取材

[ルワンダ] ~国家戦略に基づいた 新しい教育とは~



石井 至

アンテナ・プレススクール代表

いしいいたる / 1965年北海道札幌市生まれ。東京大学医学部卒(PhD)。当誌アドバイザー、駐日ドミニカ共和国大使館名誉相談役、駐日ルワンダ共和国大使館特別顧問、関西大学経済政治研究所研究員(「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」)、東京都市大学付属小学校学校評議員等を務める。『慶應幼稚園』(幻冬舎)など著書多数。近著に『グローバル資本主義を卒業した僕の選択と結論』(日経BP社)。

ルワンダと聞くと1994年のジェノサイド(※)や映画「ホテル・ルワンダ」を思い出す人が多いかもしれないが、現在のルワンダはそういう印象とはまったく異なる。「アフリカのスイス」と呼ばれるように、安全でゴミがなく、緑にあふれたきれいな国だ。1月にルワンダを訪問した際に得た教育事情についてレポートしよう。

※特定の民族・人種・宗教などに対して行われる集団抹殺。
ルワンダの民族紛争では、50万~100万人が虐殺されたとされる。

**ひとり1台ずつパソコンを
貸与するOLPC**

私が視察したのは、ルワンダの
教育改革のひとつ、「子どもひとり
に1台のラップトップを(One
Laptop Per Child)」というプロジ

エクト(通称、OLPC)の現場だ。
読者は「100ドルパソコン」
の話を聞いたことがあるかもしれ
ない。発展途上国の子どもに、1
台100ドルのパソコンを配布し、
新しい教育手法に取り組みという
話である。これは、元MIT(マ
サチューセッツ工科大学)教授の
セイモア・パパート氏が提唱した
「構造主義」と言われる教育哲学
に基づき、MITメディアラボの
創設者ニコラス・ネグロポンテ教
授がNGO組織を通じて推進して
いるプロジェクトである。教育に
おける「構造主義」とは、子ども
が経験を通じて学ぶほうが効果的
であるという考え方だと言われる。
2005年にチュニジアで行わ
れた世界情報サミットで、カガメ・
ルワンダ大統領はネグロポンテ氏
に会って示唆を得たという。

正直なところ、私は、OLPC
というプロジェクトや構造主義と
いう考え方に諸手を挙げて賛成と
いうわけではない。むしろイデオ
ロギー的な違和感すら覚えるが、
実際のルワンダのケースはそうい
う違和感を越えて、非常に実際の
現実的な取り組みになっていた。

なぜか。

実は、ルワンダではとりわけ小
学校の教員の数が圧倒的に少なく、

また、質も十分ではないからだ。

ルワンダは、総人口約1100
万人のうち16歳以下の人口が約半
数を占める。ジェノサイドで大人
が大量に死んだため人口構成が偏
っている上、ここ10年の高い経済
成長率が高い出生率を導いている。

つまり、優秀な先生の絶対数が
足りないのが、必要な内容をあら
かじめインストールしたラップト
ップを、子どもにひとり1台貸与
して勉強させるほうが、圧倒的に
教育効果が上がるということだ。

現時点のルワンダとしては最も効率
的な教育手法だと言えるだろう。

ルワンダの教育課程は日本と同じ
で、小学校が6年、中・高各3年
という仕組みだが、このOLPC
の取り組みは、小学校4年から6
年の子どもたちが参加する。

**独自のレポートを作成し
英語で発表**

パソコンで勉強すると聞くと、
つまらないのではないかと危惧す
るかもしれないが、実際は、子ど
もたちは夢中で取り組んでいた。

プログラムもよくできていて、学
ぶべき内容がインストールされて
いるだけでなく、自分でラップト
ップ内蔵のカメラやビデオを使っ

子どもの才能を引き出すeducation誌

duccare デュケレ Vol.12

日本経済新聞出版社 定価980円

公立中高一貫校
国立大合格
ランキング

わが子に本当に合う学習法を探せ!

算数メソッド 超厳選8

家庭で身に付けさせたいのは
学力よりも
「学び力」

“濃い夏休み”に
変えるコツ

「海外留学」
という選択肢

偏差値で中学を選ぶ時代は終わった!

学校選びの 新基準

新連載

内藤 誼人
「家族のユーモア心理学」

